



# Sun StorageTek™ StreamLine SL500 Modular Library System



ミッドレンジ環境に最適な、優れた柔軟性とスケール  
ビリティを提供するオートメーション・テープ・ライブラリ



## Highlights

- **優れた費用対効果と拡張性**  
必要な容量で運用を開始し、データ容量の増加やニーズの変化に応じてカートリッジ・スロットやドライブ・ベイを容易に追加可能。最大18台のテープ・ドライブで575スロット(LTOバージョン)に対応
- **信頼性と拡張性の両立**  
信頼性を損なうことなく、データセンターのニーズの変化に応じて容易に容量やパフォーマンスを拡張可能
- **管理コストの削減**  
機能性に優れたリモート管理ソフトウェアを利用して、あらゆる場所からライブラリを管理可能
- **投資保護**  
SANに対応したネイティブのファイバ・チャンネル・インタフェースにより、リソースを共有し、追加のルータを必要としない優れた費用効果を実現可能
- **RoHS指令対応**



データ量は増加の一途を辿るにもかかわらず、バックアップに費やせる時間は少なくなる一方の状況で、多くのミッドレンジ・バックアップ環境では瞬間に容量とパフォーマンスの限界に到達してしまいます。Sun StorageTek™ StreamLine SL500は、業界屈指の高い拡張性を備えたラックマウント型テープ・オートメーションのソリューションを提供することで、これらの課題に応えます。Sun StorageTek StreamLine SL500であれば、現在必要としているバックアップ・ニーズを満たす構成で導入し、モジュールの追加で管理性や信頼性を阻害することなく、必要に応じて容量とパフォーマンスを追加していくことが可能です。

### 卓越した拡張性を備え、高速かつ信頼性に優れたバックアップ環境

柔軟なモジュール構造によるSun StorageTek StreamLine SL500は30~575スロットまで拡張でき、最大で200TB以上の非圧縮データを保存することが可能です。最大18台のテープ・ドライブを収容でき、1時間あたり非圧縮データ5TB以上のスループットを実現しています。高可用性が要求される環境において、バックアップに必要な時間を短縮できるパフォーマンスを提供します。ドライブ容量の拡張性を備え、最新のLTO(Linear Tape Open)テープ・ドライブ・テクノロジーにも対応したSun StorageTek StreamLine SL500は、メール・サーバ／データベース・アプリケーション／全社規模のファイル・サーバなど、急速にデータが増え続けるクリティカルなサーバ環境に最適です。

### 省スペース性

ラックマウントに対応し、密度の高いカートリッジ・スロットを備えたSun StorageTek StreamLine SL500は、限られたスペースの環境にも最適です。搭載ラックは、Sun StorageTek StreamLine L500専用とし

ても、サーバやストレージ・アレイを組み合わせて収容することも可能です。

### 投資保護

Sun StorageTek StreamLine SL500は、ロボティクス／ライブラリ・オートメーション・アーキテクチャを変更せずに、スロット数／ドライブ数を拡張することが可能です。ライブラリをアップグレードすることで容易に容量を追加できるため、装置に対する既存の投資を保護することができます。さらに、標準化されたインタフェースとSun StorageTek Library Controlソフトウェアが、Microsoft Windows／UNIX®／Linuxなど環境の異なるデバイスの接続を可能にし、リソースの共有を容易にします。

高速なストリーミング・パフォーマンスと多くのカートリッジ収容能力を備えたSun StorageTek StreamLine SL500は、小規模なりモート・サイトから企業のデータセンターに至るまで、幅広く最適なライブラリ環境を提供します。いま求められているニーズを満たすだけでなく、将来にわたってストレージ統合／データ保護のための要件を満たすことができる、柔軟なプラットフォームです。

# Sun StorageTek StreamLine SL500 Modular Library System

## Sun StorageTek StreamLine SL500 Modular Library Systemの仕様

モデル ドライブ		LTOバージョン				メディア混在バージョン			
		LTO Ultrium Generation 3		LTO Ultrium Generation 4		SDLT600		DLT-S4	
種別	ベース・モジュール	2台							
搭載数	ベース・モジュール DEM <sup>*1</sup> 追加構成時	6台 (DEM 1台追加時) / 10台 (DEM 2台追加時) / 14台 (DEM 3台追加時) / 18台 (DEM 4台追加時)							
ドライブ転送速度 (非圧縮時)		80MB/秒	120MB/秒	36MB/秒	60MB/秒	80MB/秒	120MB/秒	288.0GB/時	432.0GB/時
ライブラリ最大転送速度 (非圧縮時)		5.1TB/時	7.7TB/時	2.3TB/時	3.8TB/時	5.1TB/時	7.7TB/時	230.0TB	380.8TB
カートリッジ	単体容量 (非圧縮時)	400GB	800GB	300GB	800GB	400GB	800GB		
	スロット数	30スロット				24スロット			
	最大容量	575スロット				476スロット			
	ベース・モジュール 基本	12.0TB	24.0TB	7.2TB	19.2TB	9.6TB	19.2TB		
	ベース・モジュール 最大	230.0TB	460.0TB	142.8TB	380.8TB	190.4TB	380.8TB		
カートリッジ・アクセス・ポート (CAP)	ベース・モジュール	5CAP				4CAP			
	ドライブ拡張モジュール	10CAP				8CAP			
	カートリッジ拡張モジュール	10CAP				8CAP			
ロボティクス・リライアビリティ	MTR	30分未満							
	MSBF	2,000,000回							
	MEBF/ロボティクス制御インタフェース	SCSI-3 Media Changerコマンドセット:Low voltage differential (LVD)または2Gbファイバチャネル							
可用性	非中断保守性	ホットスワップ対応のドライブ、診断とレポート用のEthernet / シリアル・ポート。冗長構成のファンを備えた、ホットスワップ対応の冗長電源							
電源	定格電圧	100~240V							
	定格周波数	50~60Hz							
	定格電流	4A@100V							
	入力電流	4A@100V							
	消費電力 <sup>*2</sup>	400VA 360W							
	発熱量	1,230BTU/時 310Kcal/時 1,300KJ/時							
寸法 (突起物を含まず)と重量	幅 / 奥行 / 高さ / 重量 <sup>*3</sup>	48.3cm / 84.8cm / 35.6cm / 44.5kg (ベース・モジュール) / 41.3kg (ドライブ拡張モジュール) / 20.1kg (カートリッジ拡張モジュール)							
動作環境	温度 動作時 / 非動作時	10~40°C / -40~60°C							
	湿度 動作時 / 非動作時	20~80%RH (結露しないこと) / 95%RH (結露しないこと)							
	高度 動作時	3,000m							
	振動 動作時 / 非動作時	0.12GRMS、1-400Hz (ランダム振動、Z軸) / 0.52GRMS、1-200Hz (ランダム振動、Z軸)							
主な準拠規格 <sup>*4</sup>	下記の条件に適合またはこれを上回る								
	安全性	UL60950、EN60950、他							
	RFI/EMI	EN55022 Class A、VCCI Class A、他							
	イミュニティ	EN55024、他							
オペレーティングシステム	管理システム	UNIX <sup>*</sup> 、Solaris <sup>*</sup> 、Microsoft Windows、Linux							
	Any Cartridge Any Slot	複数種のテープ・メディアに対応し、セルの場所を固定化しない							
	デジタルレビジョンシステム	独自のデジタル・カメラレビジョンシステムが継続的なキャリブレーションとバーコード認識を実行							
	オペレータパネル	構成 / 診断などの制御、ステータス表示 / ビューイング・ウィンドウなどの機能を提供するユーザーフレンドリなオプションの制御パネル							
	自動クリーニング	ライブラリもしくはソフトウェア・コマンドから利用できる。テープドライブ・クリーニング用カートリッジ・スロット (構成可能)							
	自動認識	セル / ドライブ / CAPに対する自動認識と自動構成							
	継続的な自動キャリブレーション	定期的なメンテナンスやアライメント調整が不要							

\*1 DEM:ドライブ拡張モジュール。

\*2 定格値をもとに算出したものです。実消費電力ではありませんので、ご注意ください。

\*3 ベース・モジュールの重量は、電源装置1台 / LTOドライブ2台 / ロボットを含みます。ドライブ拡張モジュールの重量は、電源装置1台 / LTOドライブ4台を含みます。

\*4 適合している規格の中から、代表的なものを記載しています。

\*5 CEM:カートリッジ拡張モジュール。

本製品の保証内容の詳細については、<http://jp.sun.com/service/support/warranty/>をご覧ください。

## ドライブおよびスロット構成マトリックス

構成	LTOバージョン						CAP	スロット 合計	メディア混在バージョン					
	ドライブ最大搭載台数								ドライブ最大搭載台数					
	2	6	10	14	18		2	6	10	14	18			
モジュール	ベース・モジュール	30					5	35	24				4	28
	20スロット・アップグレード	50					5	55	42				4	46
拡張 モジュール1台	50スロット・アップグレード		100				15	115		86			12	98
	DEM1台増設		143				15	158		119			12	131
	CEM1台増設	170					15	185	140				12	152
拡張 モジュール2台	DEM2台増設			227			25	252			189		20	209
	DEM1台&CEM1台増設		254				25	279		210			20	230
	CEM2台増設	290					25	315	240				20	260
拡張 モジュール3台	DEM3台増設				311		35	346			259		28	287
	DEM2台&CEM1台増設			338			35	373			280		28	308
	DEM1台&CEM2台増設		374				35	409		310			28	338
	CEM3台増設	410					35	445	340				28	368
拡張 モジュール4台	DEM4台増設					395	45	440				329	36	365
	DEM3台&CEM1台増設				422		45	467			350		36	386
	DEM2台&CEM2台増設			458			45	503		380			36	416
	DEM1台&CEM3台増設		494				45	539		410			36	446
	CEM4台増設	530					45	575	440				36	476



## サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話 (03) 5717-5000 (代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話 (03) 4232-2400 (代)
神宮前オフィス	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-4-11		電話 (03) 5843-1100 (代)
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-22	栄928ビル6F	電話 (052) 264-4611 (代)
大阪支社	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話 (06) 6265-5700 (代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル9F 901-A	電話 (092) 834-0101 (代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話 (0298) 51-2210 (代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話 (0565) 25-5701 (代)
ホームページ	<a href="http://jp.sun.com/">http://jp.sun.com/</a>		

Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 USA Phone 1-650-960-1300 or 1-800-555-9SUN Web sun.com

© 2008 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. ●Sun、Sun Microsystems、Sunのロゴマーク、Solaris、StorageTek、StorageTekのロゴマークは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●UNIXは、X/Open Company Ltd.が独断的にライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。●本文中に記載の各社の社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。資料の内容は、お断りなしに変更することもありますのでご了承ください。

本誌は緑林・森林認証取得木材  
および古紙・リサイクル配合による再生紙  
と大豆インキを使用しています。

